

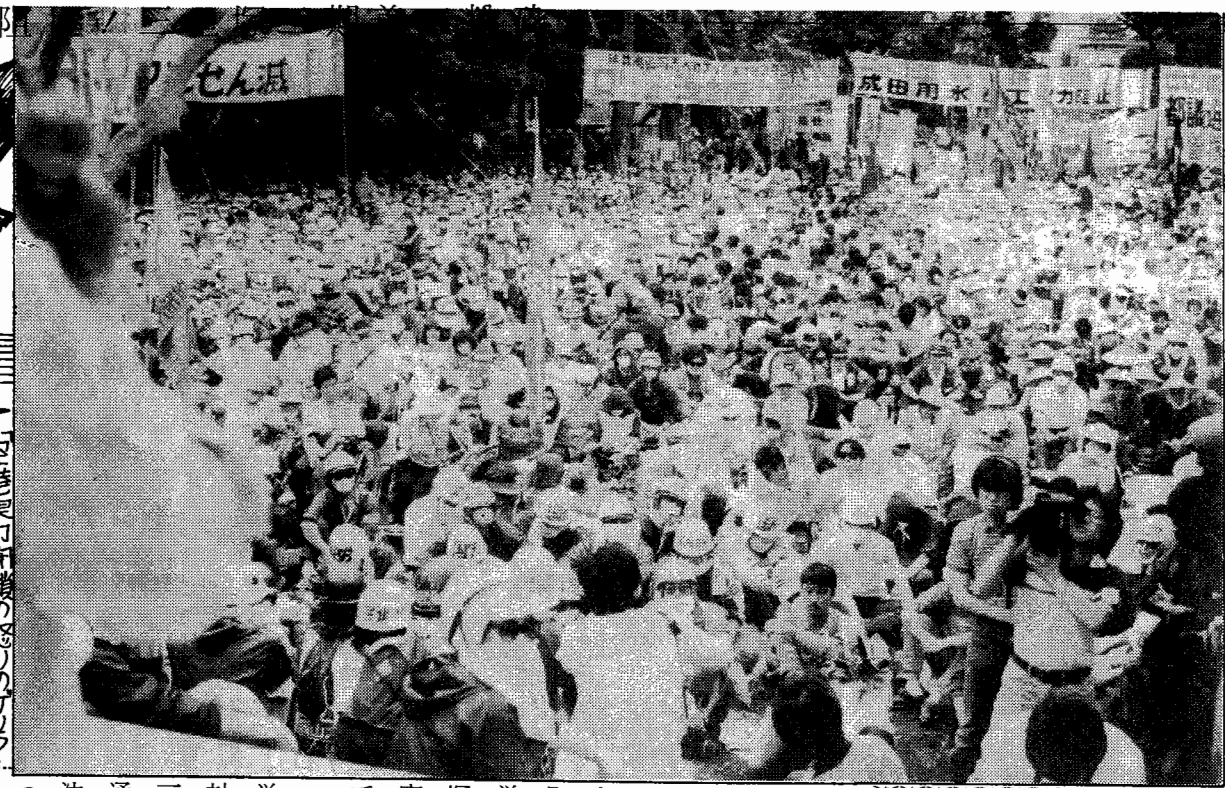
日刊 動労千葉

85. 5. 29

No. 1950

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二・二二七・七〇七



この力で二期阻止も 「過員」首切攻撃に「勝つぞ」 3.26三里塚に圧勝したぞ

空港実力所館の怒りのゲリラ
「の」の巨万の結集は、二期阻止
廃港への大展望を示して

オー公園埋め尽す 「二二〇〇名」が大結集

当局的弾圧体制を うち破って成田結集

学園を中心に、新たなマル生攻撃に踏み込みはじめた当局は、動労千葉の「5・26三里塚」決起に対しても妨害・弾圧の姿勢で臨んできた。

成田運転区結集！動労千葉独自集會開催に對し、公安官・局課員三〇名を動員し「職員通路を通るな」「営業法違反だから写真をとって現認する」「庁舎前の集會は認めない」などと通告し、弾圧！

処分への恫喝を加えてきた。動労千葉は怒りに燃えた抗議行動を展開し、庁舎前集會を貫徹した後、二五〇名の部隊で三里塚第一公園へ向かった。

第一公園では、動労千葉、国労共闘を中心とする労組連一五〇〇名の独自集會を開催し、「三里塚！国鉄」決戦の爆発で中曽根の戦争への道を阻止するために、労組連隊列の飛躍的拡大を実現することを確認し、直ちに本集會に合流した。

「絶対に屈しない」 —— 小川嘉吉さんが決意表明 ——

集會は、会場からあふれんばかりの大結集をもつて開始され、秋葉義光氏、平山ひでさんの司會のもと、まず敷地内の市東東市さんが力強く開會を宣言、主催者を代表して小川嘉吉さんが「いかなることがあっても絶対に屈することなく、世界の平和のために闘っていく」とあいさつした。

つづいて、北原事務局長が基調報告にたち「開港以来七年、いまだ一本の滑走路しかできない事

実こそ、人民の怒りと抵抗の闘いがあるからだ。一切の話し合いを拒否し、実力闘争で勝利する以外にないことを二〇年の総括にかけて確認しよう。三里塚は反戦・反核、戦争への道を阻止する啓であり、全人民の敵！革マルを粉碎し、脱落派を一掃して、成田用水！二期工事を阻止しよう」と訴えた。

「9・16・10・27全国集會」を呼びかけ

「東峰十字路裁判・三君を守る会」代表の関川動労千葉顧問が、全国での「守る会」結集を呼びかけ、顧問弁護団の葉山、一の瀬両弁護士を報告をうけた後、被告団を代表して島村昭治氏より「勝利の確信をもって闘いぬく」との決意をうけた。

つづいて、成田用水阻止を闘う菱田の鈴木幸司氏、敷地内農民を代表して小川喜平氏、婦人行動隊長の郡司とめ氏、青年行動隊の宮本衛氏、各学区から宮本、清宮、龍崎の各氏、自主耕作委の萩原亀二氏より、それぞれ「二期着工を実力で阻止する」との決意をうけた。

住民団体の決意表明は、動労千葉をはじめ、全国各地の闘う団体から「二期阻止の実力闘争に決起し、三里塚と連帯して戦争への道を阻止する」との決意が述べられた。

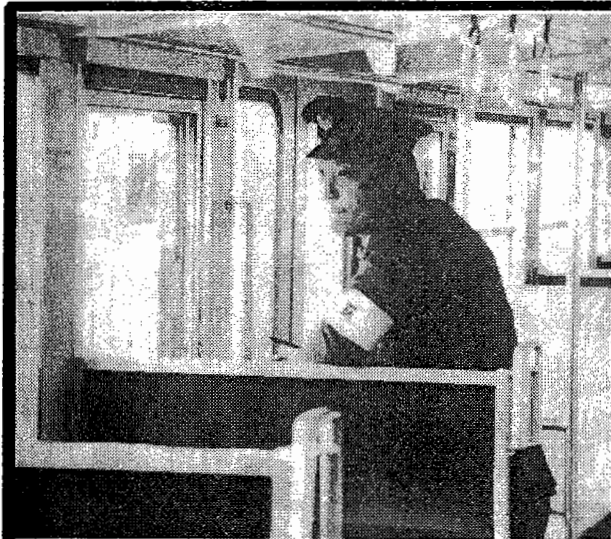
とりわけ、五月十七日の東富士軍用道路建設にむけた松丸尾管理小屋強制撤去と実力で闘いぬいた、北富士忍草母の会が万雷の拍手で迎えられ、高らかに勝利の闘争報告を行った。また、関西新空港建設をめぐる切迫する状況の中からかけつけた、関西新空港反対住民代表の永井、山本氏は、関西における「7・28全国集會」への結集を呼びかけた。

集會は、「二期阻止・空港廃港」へむけ「9・16」「10・27」大結集の闘争宣言を採択し、デモ行進に出発、日帝・中曽根体制と最後の勝利まで闘いぬく決意を叩きつけ、成功裡に終了した。

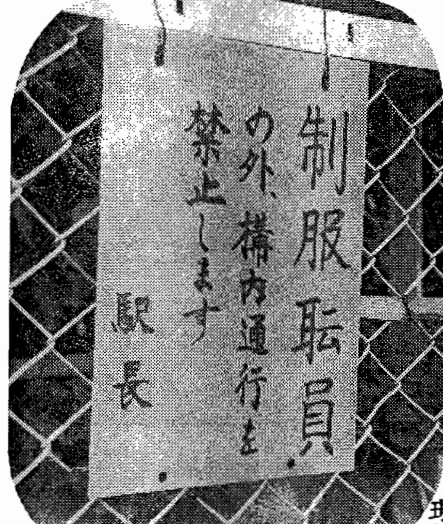
全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

ドキュメント 5.26

= 当局の異常な弾圧・妨害をうち破り、勤労千葉 250名の部隊を先頭に、1,500名の労組連隊列は堂々と行進した =



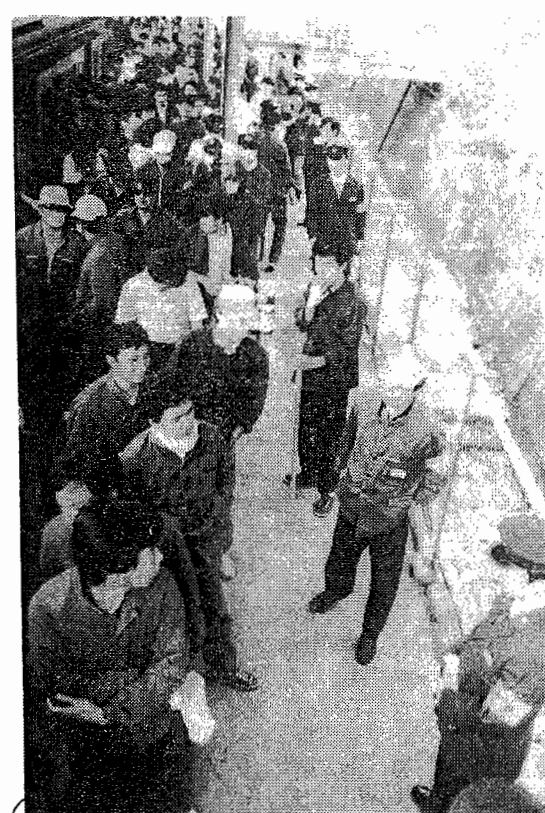
▲ 双眼鏡・カメラ・テープレコーダー・無線 持参で列車内から集会をうかがう局課員(白腕)。



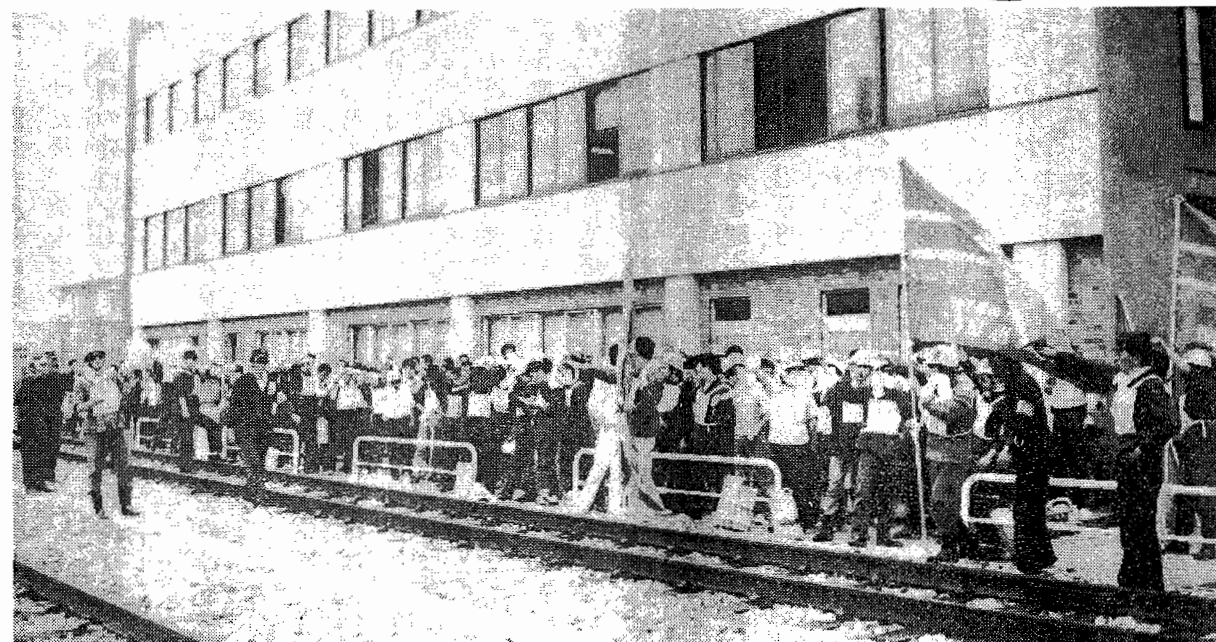
弾圧・妨害

弾圧・妨害 現認体 制

▲ 成田署公安刑事を導入。公安と白腕30名がホームに阻止線を張り



▲ 朝10時すぎ、勤労千葉の動員者が、全部から続々と成田駅ホームに降り立つ。ホームで待ち構える白腕・公安の弾圧部隊に怒りの弾効があびせられる。こんな妨害や弾圧に負けるものか!



▲ 二期阻止・15万人首切り阻止、三里塚を闘う労組運動で中曽根を倒せ! 1,500名の労組連隊列。▲ 非妥協・不屈・実力=労農連帯の闘魂で成田運輸区庁舎前集会を圧倒的にかち取る。